

資料7 社会的影響の大きかった海難

	事 件 名	発 生 年 月 日 及 び 時 刻	立 件 年 月 日	申 立 年 月 日	審 判 進 捗 状 況	地 方
1	旅客船 すいせん 遭難事件	平成15年1月5日 07:30	平成15年1月6日	平成15年2月27日	(裁決言渡) 平成15年12月18日 (第二審係属中)	仙台
	(事件の概要) すいせん (17,329トン)は、苫小牧港 敦賀港間に就航するカーフェリーで、旅客456人を乗せ、車両253台を積載し、平成15年1月4日23時55分苫小牧港を発し、敦賀港へ向けて航行中、翌5日07時12分秋田県男鹿半島北西沖において主機冷却清水ポンプが異常停止し、同時30分航行不能となった。その後、南東方に圧流される中、14時09分応急措置により自力航行を始め、21時15分秋田船川港外に避泊した。					
2	旅客船 93-058 乗揚事件	平成15年5月23日 11:35	平成15年5月23日	平成15年7月31日	(審判) 平成15年10月17日(第1回) 平成15年12月16日(第2回)	横浜
	(事件の概要) 93-058 (全長12.70メートル)は、木製の川下り船で船頭2人が乗り組み、修学旅行の旅客27人を乗せ、平成15年5月23日11時10分飯田市松尾新井地区にある弁天港を発し、約5キロメートル下流の同市時又地区にある時又港に向かったが、同時35分飯田市時又地区の三角点422.1メートルから真方位101.5度600メートルの地点(天竜川)において、船首部が露出した岩に乗り揚げた。乗揚の結果、93-058は、船底に破損を生じて浸水したのち転覆して時又港近くに漂着し、乗船者全員が落水したが皆救助され、船首船頭が全治約1箇月、旅客1人が同約1週間の怪我をそれぞれ負った。					
3	漁船 第十八光洋丸 貨物船 ファンア ジュピター 衝突事件	平成15年7月2日 02:25	平成15年7月2日	平成15年10月3日	(審判) 平成15年10月27日(第1回)	門司
	(事件の概要) 第十八光洋丸 (135トン)は、大中型まき網漁業に従事する網船で、21人が乗り組み、平成15年6月29日00時00分山口県下関漁港を僚船とともに発し、対馬東方漁場を移動しながら操業に当たり7月2日01時58分投網を完了し、第六海幸丸に裏漕ぎに当たらせながら漁労に従事中、一方、ファンア ジュピター (3,372トン)は、パナマ共和国船籍のコンテナ専用船で、16人が乗り組み、コンテナ465.5トンを積載し、平成15年7月1日21時45分大韓民国釜山港を発し、広島港に向かう途中、第十八光洋丸と第六海幸丸との間を通航しようとして進行していたところ、ファンア ジュピターの船首が第十八光洋丸の左舷中央部に衝突した。衝突の結果、第十八光洋丸は瞬時に横転して沈没し、乗組員1人が死亡し、船長外5人が行方不明となり7人が重軽傷を負い、ファンア ジュピターは球状船首に凹損及び破孔を生じた。					
4	漁業取締船 からしま 貨物船 コレックス クンサン 衝突事件	平成15年7月6日 07:33	平成15年7月6日	調査中	-	門司
	(事件の概要) 福岡県沖ノ島の北東の玄界灘で、上記「漁船第十八光洋丸貨物船ファンア ジュピター衝突事件」の第十八光洋丸の行方不明者を捜索していた漁業取締船からしま (499トン)の左舷前部に、岡山県水島港から韓国へ向けて航行中の韓国籍貨物船コレックス クンサン (4,044トン)の船首部が平成15年7月6日07時33分に衝突した。衝突の結果、からしまは船首付近から浸水して、のち沈没し、乗組員は全員近くの船に救助され、乗組員1人が負傷し、コレックス クンサンは球状船首部に破口及び亀裂を生じた。					

	事 件 名	発 生 年 月 日 及 び 時 刻	立 件 年 月 日	申 立 年 月 日	審 判 進 捗 状 況	地 方
5	ヨットファルコン 沈没事件	平成15年9月15日 16:45	平成15年9月16日	平成16年1月21日	-	神戸
	<p>(事件の概要) ファルコン(全長6.45メートル)は、船長1人が乗り組み、子供5人を含む11人が同乗し、クルージングを楽しむ目的で、平成15年9月15日16時30分、滋賀県滋賀郡志賀町北浜にある志賀ヨットクラブ(琵琶湖)の桟橋を出航した。航行中、右舷側から強い風を受けるようになるとき、左舷側に大傾斜して横倒しとなり、その後マストとセールが水没して船体が回転し、再び直立状態に戻ったが、船内に多量の水が入り浮力を喪失して沈没した。沈没の結果、大人3人、子供2人が救助されたが、大人3人、子供3人が死亡し、大人1人が行方不明となった。</p>					
6	旅客船 あさかぜ丸 浸水事件	平成15年9月29日 07:17	平成15年9月29日	平成15年11月28日	(審判) 平成16年2月12日(第1回予定)	神戸
	<p>(事件の概要) あさかぜ丸(1,296トン)は、兵庫県明石港と同県岩屋港間の定期航路に就航する可変ピッチプロペラ(以下「CPP」という)を有する2機2軸の鋼製旅客船兼自動車航送船で、旅客33人車両2台を乗せ、平成15年9月29日07時11分岩屋港を出港し明石港に向けて航行中、左舷主機船尾管軸封装置の送水管に破孔を生じて進展し、流出する海水が増加するようになり、軸室内において両舷のCPP翼角追従箱に至る電路が海水に触れて短絡を生じ、07時17分右舷主機のCPP装置が、次いで左舷主機の同装置が制御不能となった。その結果、旅客は出動した巡視船に移乗して救助され、あさかぜ丸は引船により岩屋港に曳航され着岸した。</p>					
7	貨物船 えんしゅう丸 爆発事件	平成15年11月4日 08:40	平成15年11月4日	調査中	-	広島
	<p>(事件の概要) 平成15年11月4日08時40分ごろ造船所の浮きドックで建造中の貨物船えんしゅう丸(499トン)の機関室付近で爆発が発生し、溶接作業をしていた作業員1人が死亡し、4人が負傷した。</p>					
8	漁船 開進丸 乗揚事件	平成15年12月15日 03:40	平成15年12月15日	調査中	-	広島
	<p>(事件の概要) 開進丸(60トン)は、平成15年12月14日19時00分ごろ10人が乗り組み、カニ漁のため兵庫県香住港を発し漁場に向かう途中、翌15日午前3時40分ごろ島根県隠岐郡知夫村大波加島に乗り揚げた。乗揚の結果、開進丸は沈没して全損となり、船長他3人が死亡し、1人が行方不明となった。</p>					

	事 件 名	発生年月日 及び時刻	立件年月日	申立年月日	審判進捗状況	地方
9	ケミカルタンカー サン ビーナス 爆発事 件	平成15年12月24日 15:00	平成15年12月25日	調査中	-	広島
	<p>(事件の概要) サン ビーナス (4,356トン、パナマ船籍、フィリピン人19人乗組)はエタノール約4,000トンを積載し、韓国ヨウスから神戸に向け航行中、ヨウスでBTXを揚荷して空となった2番タンクの洗浄作業中、平成15年12月24日15時00分ごろ爆発した。 爆発の結果、2番タンク付近に大破口を生じ、堪航性を喪失し、乗組員1人が死亡し、1人が行方不明となった。</p>					
10	押船 マリサ アイリス 沈没事件	平成15年12月27日 01:39	平成15年12月29日	調査中	-	神戸
	<p>(事件の概要)マリサ アイリス (139トン、パナマ船籍、インドネシア人6人乗組)は、神戸港を出港し、平成15年12月27日01時39分ごろ紀伊水道をシンガポールに向け航行中に沈没した。 その結果、マリサ アイリスは、沈没して全損となり、乗組員4人が死亡し、2人が行方不明となった。</p>					